

綾部ローカルビジネスデザイン研究所とは？

京都府綾部市について …………… グンゼ(郡是製糸)と民衆宗教「大本教」の発祥の地として知られています。植芝盛平翁により、合気道の型がうまれたまち、また昭和25年、日本で初めて「世界連邦都市宣言」をおこなった第1号宣言都市、平和のまちでもあります。

綾部市が抱える問題 …………… 昭和の大合併で広い市域を有する綾部市は現在、人口約3万4千人。市では、定住促進課を設け、積極的な移住施策をおこなっています。古民家を求め、移住希望者も多い地ですが、空き家が不足の状態。また、毎年たくさんの若い世代が大学進学とともに市外に流出しています。

**プロジェクト
立ち上げのきっかけ** …………… 生まれ育った村を都会の方(綾部里山交流大学の受講生、視察や取材メディアの方など)と歩く機会がたくさんありました。数年前から綾部のすべての自治会を歩けたらどんなにいいだろう、宝物がいっぱい眠っているし、もっと探せるはずと思ったのがプロジェクトのきっかけです。

プロジェクト実施期間 …………… 2015年4月～2017年3月+αの計10年間を計画

プロジェクトが目指すこと …………… 大学進学で多くの若者が市外へ。新しいものを創り出す力が綾部は目に見えて落ちています。新しいものやコトを創り出す力をつけ、市内に新しい小さな仕事を育て、企画力ある市民の数、「多様な分野のクリエイター(文化創造者)」の率を高め、ソフトパワー時代を生き残っていける発信力あるまちをめざしています。

プロジェクトの内容

- 1 綾部市の全自治会196の地域資源調査 …………… 地域に眠っている「地域資源」の見える化
- 2 綾部ローカルビジネスデザインスクールの開催(毎月) …………… 自分資源と地域資源を使った起業を促す
- 3 綾部ローカルビジネスデザイン研究会の開催(毎月) …………… 地域資源を活かした商品開発をめざす
- 4 ミニブックの制作と販売 …………… 移住希望者や全国に向けての情報発信
 - ・ローカルビジネスのつくり方問題集(2015年10月発行)
 - ・じぶん資源とまち資源の見つけ方(2016年9月発行)
- 5 ローカルビジネスに関するコンサルティングと起業支援 …………… 綾部市内での起業をサポート
- 6 あやべ満月の日アイデアコンテスト(毎月) …………… 綾部の地域資源を活かすアイデアコンテスト
- 7 綾部のコミュニティFMでラジオ番組を放送(毎月) …………… 綾部の自治会ごとの地域資源を紹介

詳しくはホームページをご覧ください。

ayabelocalbusinessdesign.com

綾部ローカルビジネスデザイン研究所 検索

販売価格(税込) ¥500 このプロジェクトは「公益財団法人トヨタ財団」の国内助成プログラムの支援を得ておこなっています。

じぶん資源 と まち資源 の 見つけ方



綾部ローカルビジネスデザイン研究所
AYABE LOCAL BUSINESS DESIGN LABO

CONTENTS

- 1 はじめに
- 2 メッセージ じぶん資源 × まち資源 = !

じぶん資源



まち資源

- 4 WORK 1 じぶんの型 × まちの型
- 6 WORK 2 140文字じぶん紹介 × まち紹介
- 8 WORK 3 じぶんAtoZ × まちAtoZ
- 10 WORK 4 じぶんの夢 × まちの夢
- 12 WORK 5 じぶんといえば × まちといえば
- 14 WORK 6 じぶん5 × まち5
- 16 WORK 7 じぶんコレクション × まちコレクション

まち資源

- 18 WORK 8 ニューツーリズムをつくる
 - 19 WORK 9 ○○のメッカ
 - 20 WORK 10 半径3キロで宝物を探す
 - 21 WORK 11 リノベーション
 - 22 WORK 12 アート100
 - 23 WORK 13 3つ集まればマニアックゾーン
 - 24 WORK 14 ○○大学○○学科
 - 25 WORK 15 ○○甲子園
 - 26 WORK 16 100パワー
 - 27 WORK 17 ○○都市
- 28 あとがき

地域資源が増えるまち

中学校区に信号が3つのわがまちですが、なんとすてきなパン屋さんが誕生しました。神戸でパン屋さんをされていた夫妻がUターンして開業されたのです。お店はすぐに人気店に!

地方創生が叫ばれるいま、すべきことは地域資源(地域の宝)を再発見し、それを磨くことといわれます。

最近こんなことに気づきました。

地域資源がなくならないまち、地域の宝がゆっくりとさらに磨かれるまち、だけでなく、新たな宝物が生まれることも大事だと。

みなさんのまちにも新しい宝物が最近、加わっていたら素晴らしいです。大事に支えてあげてください。

じぶん

資源



まち

資源



いまという時代をととえるなら、台風接近時の小船と似ているように思います。海は波が高く、大荒れの状態。空には黒い雲が立ち込め、雨も降り、灯台の灯りも北極星も見えません。船にあるはずの羅針盤も壊れていたり、海に落としてしまっている。そもそも羅針盤が備わっていなかったかも

しれません。そのような時代をぼくたちはどう生きたらいいのでしょうか。

荒削りかもしれませんが、これからの考え方、暮らし方、まちづくりやローカルビジネスのつくり方などをまとめてみました。

欧米には食素材は約2千種類。日本には1万2千種類。食品総合研究所の理事長・鈴木建夫さんがこんなデータをまとめておられてびっくりしたことがあります。日本は世界に誇る豊かな食材の宝庫なのです。

食文化史研究家の永山久夫さんは、百種類の食べ物には百種類の神さまの力がこもっているといいます。上手にからだにとり込むと、病気の予防や治す力をもつものもいっぱいあるってすてきなことです。永山さんは「百種百神」というすてきなことで表現されていました。

それにしても、この国はぼくたちが思うよりずっとずっと豊かなのです。きっとぼくたちのなかにも宝物が眠っています。そして周囲の人のなかにも。それをみんなで活かしていくようなまちづくりが、国づくりができたらいいいですね。

自然資源、歴史資源、文化資源、人的資源……。地域の宝はいろいろあります。それに自分の資源を掛け合わせ、新しい何かを創出していきましょう。新しい組み合わせをまちに、村にいっぱい創っていくこと。

トランプの「神経衰弱」では、カードはすべて裏返っていて、2枚だけ引き、あたるとカードがもらえますが、未来の世界のイメージはその逆だと思います。絵柄(=自分資源、地域資源)がすべて表を向いていて、ぼくたちが自由に組み合わせて、アイデアを足して、おもしろい世界をそこからつくっていくのです。

このミニブックに書きこんでみたことから、ワークショップ等でみんなで対話し、シェアしたことから何かが生まれたら幸いです。

ぜひたくさん書きこんでいってください。すてきな未来をつくっていきましょう。

VISION

1 センス・オブ・ワンダー

自然の不思議さや神秘さに目を見張る感性を大事にしよう。

2 野菜・お米・味噌と夢

食べものと使命、という「2つの自給力」を高めよう。

3 Plain Living , High Thinking

持続可能な小さな暮らしと高い志でいこう。

4 ブリコラージュしよう

あるものを活かし、ないものをつくろう!

5 自分の「型」、地域の「型」を持とう

得意なこと3つを掛け算するイメージ!

6 周囲のエックスに光を当てよう

人間だけでなく、みんなエックスを持っている!そのプロデュースを。

7 大好きなことで、小さな変革をしていこう

こつこつスローレボリューションしていこう。

8 大事なことを発信し、後世に贈り物をしていこう

見返りを求めず、与え、シェア、ギフトしていこう。

9 た↑ね↓という2方向を意識して生きよう

根っこ創造性の翼を忘れずに!



塩見直紀

1965年、京都府綾部市生まれ。2000年、半農半X研究所設立。21世紀の生き方、暮らし方として、「半農半X」コンセプトを20年前より提唱。著書に「半農半Xという生き方【決定版】」など。総務省地域力創造アドバイザー。福知山公立大学地域経営学部特任准教授。

WORK 4

じぶんの夢 × まちの夢

1度きりの人生、日々忙しくしていると夢も忘れがち。

年に1回は夢チェック、夢を棚卸してみましょう。

1～8は夢の優先順位ではありませんので自由にお書きください。

人生で叶えたいことと、まちで叶えたいことはクロスしていませんか？

じぶんの夢

1	2	3
4	X	5
6	7	8

まちの夢

地域名

1	2	3
4	X	5
6	7	8

アート100

地域で見つけた芸術、小さくともアートだと思えるものを100あげてください。

地域名

1	21	41	61	81
2	22	42	62	82
3	23	43	63	83
4	24	44	64	84
5	25	45	65	85
6	26	46	66	86
7	27	47	67	87
8	28	48	68	88
9	29	49	69	89
10	30	50	70	90
11	31	51	71	91
12	32	52	72	92
13	33	53	73	93
14	34	54	74	94
15	35	55	75	95
16	36	56	76	96
17	37	57	77	97
18	38	58	78	98
19	39	59	79	99
20	40	60	80	100

3つ集まればマニアックゾーン

「3店寄れば、マニアックゾーンになる」とは京都出身の
コンセプトラー・谷口正和さんの本『オンリーワンのつくり方』にある言葉です。
まちづくりでも3つを戦略的にそろえるというやり方があります。
3つユニークなものがあれば、人の流れが変わり、おもしろいまちや
地域であることを発信できます。みなさんの3つは何ですか？

地域名	ユニークなもの3つ(店、風景、人など)		
例 綾部市 (本町)	1 半月庵 おいしい煎餅屋	2 パレット 町家をいかしたカフェ	3 薬膳喫茶 悠々 老舗の漢方屋さんが経営
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3
	1	2	3